

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人渡辺良夫の上告趣意第一点は、原審で主張判断を経ない事項に関し、当審においてあらたに違憲、違法をいうものであつて、不適法であり（昭和三十七年法律第五〇号〔入場税法の一部改正法律〕附則四項にいう罰則のうちには、右法律による改正前の入場税法〔昭和二十九年法律第九六号〕第二九条の規定も含まれると解するのを相当とする。）、同第二点は事実誤認、同第三点は単なる法令違反、同第四点は量刑不当の主張であつて、いずれも刑訴四〇五条の上告理由に当たらない。

よつて、同四一四条、三八六条一項三号により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和三十九年一月二七日

最高裁判所第一小法廷

|        |   |   |   |   |
|--------|---|---|---|---|
| 裁判長裁判官 | 松 | 田 | 二 | 郎 |
| 裁判官    | 入 | 江 | 俊 | 郎 |
| 裁判官    | 長 | 部 | 謹 | 吾 |
| 裁判官    | 岩 | 田 |   | 誠 |